

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509735(P2005-509735A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-545885(P2003-545885)

【国際特許分類】

C 09 B 57/00 (2006.01)

D 06 L 3/12 (2006.01)

D 21 H 21/30 (2006.01)

【F I】

C 09 B 57/00 W

D 06 L 3/12

D 21 H 21/30

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月20日(2005.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

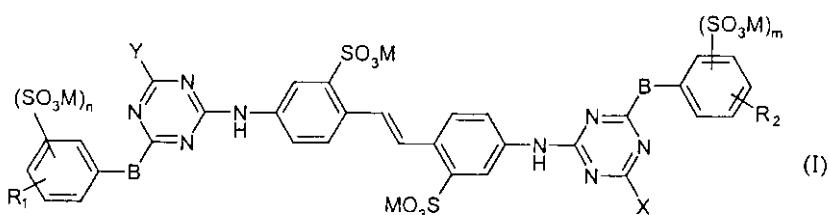
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)

【化1】



(式中、R₁及びR₂は互いに独立にH、ハロゲン、未置換C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル又はC₁₋₆アルコキシであり、

各Bは互いに独立に-O-又は-NR₃-であり、

R₃はH、未置換C₁₋₄アルキル又は置換C₁₋₄アルキルであり、

Xはハロゲンであり、

Yはハロゲン、OR₄、SR₄又はNR₄R₅であり、ここで、

R₄は未置換C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

R₅はH、未置換C₁₋₆アルキル又は置換C₁₋₆アルキルであり、又は、

R₄及びR₅はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

n及びmは互いに独立に0、1又は2であり、

各Mはカチオンである)の化合物又はその混合物の蛍光増白剤としての使用。

【請求項2】

R₁及びR₂は互いに独立にH、C1、F、未置換C₁₋₂アルキル、置換C₁₋₂アルキル又はC₁₋₂アルコキシであり、

各Bは互いに独立に-O-又は-NR₃-であり、

R₃はH、未置換C₁₋₂アルキル又は置換C₁₋₂アルキルであり、

XはF又はC1であり、

YはC1、F、OR₄、SR₄又はNR₄R₅であり、ここで、

R₄は未置換C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

R₅はH、未置換C₁₋₆アルキル又は置換C₁₋₆アルキルであり、又は、

R₄及びR₅はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

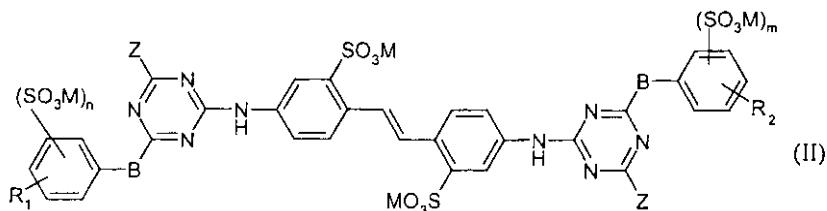
n及びmは互いに独立に0、1又は2であり、

各Mはカチオンである)の式(I)の化合物又はその混合物が使用される、請求項1記載の使用。

【請求項3】

下記式(I I)

【化2】



(式中、R₁、R₂、B、m、n及びMは請求項1又は2に規定されるとおりであり、ZはOR₄、SR₄又はNR₄R₅であり、R₄及びR₅は請求項1又は2に規定されるとおりである)の少なくとも1種の化合物と、式(I)の少なくとも1種の化合物との混合物が使用される請求項1又は2記載の使用。

【請求項4】

混合物が2wt%~95wt%の式(I)の化合物、及び、98wt%~5wt%の式(I I)の化合物を含む、請求項3記載の使用。

【請求項5】

混合物が5wt%~80wt%の式(I)の化合物、及び、95wt%~20wt%の式(I I)の化合物を含む、請求項3記載の使用。

【請求項6】

天然及び再生セルロース繊維、天然及び合成ポリアミド及びポリウレタン繊維、テキスタイル及び紙が増白される、請求項1~5のいずれか1項記載の使用。

【請求項7】

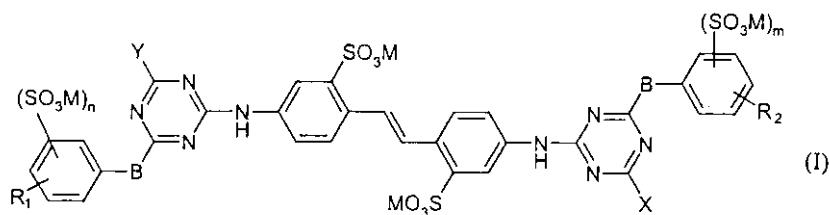
紙が増白される、請求項7記載の使用。

【請求項8】

2wt%~95wt%の式(I)の化合物、及び、98wt%~5wt%の式(I I)の化合物を含む混合物であって、

式(I)は

【化3】



(式中、R₁ 及び R₂ は互いに独立に H、ハロゲン、未置換 C₁₋₆ アルキル、置換 C₁₋₆ アルキル又は C₁₋₆ アルコキシであり、

各 B は互いに独立に -O- 又は -NR₃- であり、

R₃ は H、未置換 C₁₋₄ アルキル又は置換 C₁₋₄ アルキルであり、

X はハロゲンであり、

Y はハロゲン、OR₄、SR₄ 又は NR₄R₅ であり、ここで、

R₄ は未置換 C₁₋₆ アルキル、置換 C₁₋₆ アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

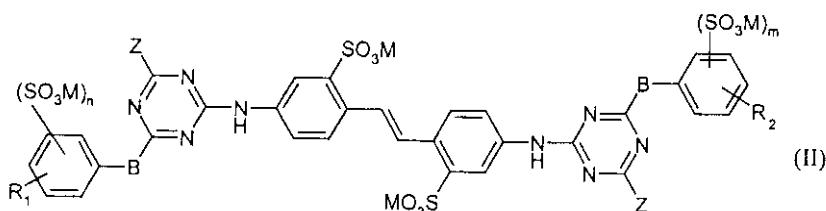
R₅ は H、未置換 C₁₋₆ アルキル又は置換 C₁₋₆ アルキルであり、又は、

R₄ 及び R₅ はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

n 及び m は互いに独立に 0、1 又は 2 であり、

各 M はカチオンである) であり、そして式 (II) は

【化4】



(式中、R₁、R₂、B、m、n 及び M は上記に規定されるとおりであり、Z は OR₄、SR₄ 又は NR₄R₅ であり、R₄ 及び R₅ は上記に規定されるとおりである) である、混合物。

【請求項9】

5 wt % ~ 80 wt % の式 (I) の化合物、及び、95 wt % ~ 20 wt % の式 (II) の化合物を含む、請求項8記載の混合物。